



しろっこだより

赤穂市立城西小学校

〒678-0244

赤穂市城西町41番地

TEL 0791-42-0698

文責：北里 浩士



【お詫び】

令和6年12月19日（木）に、学校だより「しろっこだより」を発行する予定でしたが、赤穂市内小中学校等において、サーバーのシステム障害が発生し、文書管理ができなくなりました。そのため、前号（第18号）を配付することができませんでした。第18号は、後日、学校ホームページに掲載させていただきますのでご覧ください。

【第19号は、十二支（えと）のお話から】

（次のようなお話を聞いたことがあるかも知れません…）

○山のとっぺんに楽しいことが大好きな神様がいました。

『元日に集まった12匹の動物を1年ずつ王様にする』というアイデアを思いつきました。

○動物たちは、『王様になれる』と聞いて大興奮！

○牛は、大晦日の日から出発しました！

○ほかの動物たちも、思い思いに出発して山を目指しました。

こうして、十二支の干支が決まり、神様と楽しく新年を祝いました。

★山に到着した順番は、①ねずみ ②うし ③とら ④うさぎ ⑤たつ ⑥へび（み）

⑦うま ⑧ひつじ ⑨さる ⑩とり ⑪いぬ ⑫いのしし

（詳しくは、お話を読んでいただきたいのですが…）



今年は、
巳年（みとし）
（へび）



令和6年は、
たつ年

もちろん、お話ですが…、

このようにして、『十二支（えと）』が決まったのでしょうか…？

このお話の中で、感心したことがあります。（2つ）

（「うし」→2番目に到着）

①牛は、自身のこと（歩く速さが遅い）をよく知っていたので、前日の夕方から、山に向かって出発していました。自分のことをよく知っていて、目的を達成するためには、どうすれば良いのか…を知っていたのですね。とても賢いですね。

（「ねずみ」→1番目に到着）

②ねずみは、牛の背中に乗って、山を目指しました。「牛は、足が遅いの、なぜ、ねずみは、牛の背中に乗ったのでしょうか？」
「到着が遅れると12番までに入れないのに…」と誤ってしまいます。きっと、ねずみは、牛が堅実（早く出発するから間に合う）であることを知っていたのだと思います。ねずみは、相手のことをよく見て、よく考えて行動したものだと感心します。



（裏面もあります）

「避難訓練」（１月１７日）

１月１７日（金）の業間（１０：２０～）に、「避難訓練」を行いました。今回の「避難訓練」は、学校中の放送機器が使用できない…という想定でした。また、休み時間であり、児童も教室だけではなく、校内各所に分散していました。そんな中で行われた「避難訓練」ですが、児童の動きは、どうだったのでしょうか？

まず、放送機器が使えなかったので、先生は大きな声を出して、児童に指示を出しました。児童の中には、いつもと違う異様な空気を感じ、怖さを感じたかも知れません。（ちなみに、「避難訓練」では、先生はいつもと違う形相になります。命がかかっている場面ですので、大きな声で児童に威圧をかけるかも知れません。本当にそのようなこと（大地震…等）が発生すると、児童の服を引っ張ってでも避難をさせるかも知れません。そのあたりの動きについては、ご理解をいただきたいと思っています。）

児童は、本当に静かに…、よく先生の話聞いて…、素早く運動場に避難をすることができました。休み時間でしたが、いつもと同じくらいの時間で避難を終えました。「避難の時は、よく話を聞くこと」がしっかりと守っていました。

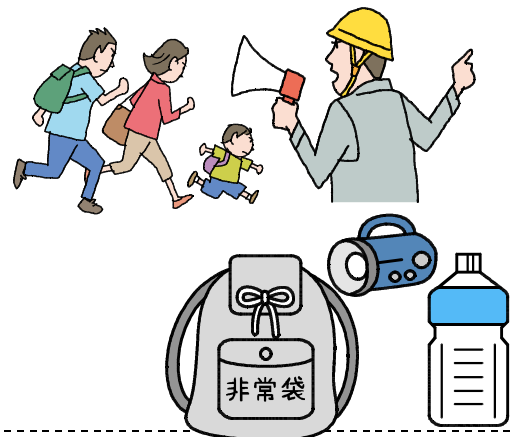
これからも、いろいろな場面を想定して、避難訓練を進めていきたいと思います。



【静かに整列（人員確認）】



【整列完了・担当の先生からのお話】



【地震に関する名言】

～ 天災（てんさい）は 忘れたところにやってくる ～

（寺田寅彦 [てらだ・とらひこ]：物理学者・随筆家・俳人）

〈意味〉

地震や台風など、天災というものは、その恐ろしさを忘れたところに突然やってくるものである。常日頃から天災に備えて準備しておくことが大切だ。

「避難訓練」が行われた１月１７日は、皆様もご存じのように「阪神・淡路大震災」が発生した日です。あれから、もう３０年が経過しています。名言にもあるように…、忘れないで、もしもに備えておくことが大切です。

